

9月5日（火）、上川研修センター主催の一般研修講座「ICTと情報モラル」の研究授業を本校教諭が1年2組で行いました。この講座は、上川管内の教職員を対象に行われたものでたくさんの先生方が本校を訪れ授業を見学しました。

授業の主な課題は「SNSに投稿するときどのようなことに気をつけたら良いか考えよう」というもので、『学生がちょっとした悪ふざけの動画をSNSに投稿してしまう』という内容の動画を見せて、生徒達に「問題点は何か」「今後この行為のせいでどんなことが起きるか」ということを考えてもらい、個々のタブレットを使い級友と交流しながら、皆でまとめていきました。

皆の意見がまとまった後、先生の方からSNSには【公開性：世界中の不特定の人々が見る可能性】と【記録性：コピーできて削除できない可能性】という特性があるので注意が必要と補足がありました。

最後に「SNSへの発信や写真などを投稿するとき、どのようなことに気をつけるべきか」を生徒個々が考え、全体で共有しました。

動画で示された、《悪意のない、ちょっとした悪ふざけ》の行為自体は、昔なら叱られて反省して終わりだったのでしょうが、現在それを皆が利用しているSNSに投稿したとき、考えられなかった大事となり、その罪も大変重くなってしまいます。スマホやネットなど私たちの暮らしに大いに役立つツールですが、使い方一つで恐ろしい結果をもたらすものだ実感できる授業でした。

授業のねらいには次のように書いてありました。

SNSは便利なツールであることは認め、「危険だから使わない（使わせない）」という指導の方向性ではなく、SNSの特性をよく理解させた上で、適切に活用していこうとする態度を養いたい。

生徒達は、活発に自分たちの意見を出し合いながら、自分事としてSNSの活用の仕方について学び、授業のねらいも概ね達成したと思います。参加された先生達からは「生徒達は初めの挨拶がとても素晴らしくてびっくりしていたら、最後まで主体的に授業に臨んでおり立派でした。」「教師の指示待ちではなく、自分たちで進められるところはどんどん進めていく姿勢は素晴らしい。」

「皆、自分の考えをタブレットに物怖じせずどんどん書き進めている姿、仲間と積極的に意見を交換する姿は立派だった。」と生徒達を褒める感想をたくさんいただきました。1年2組のみなさんお疲れ様でした！

